

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、心臓・血管・血圧などのご病気の原因を明らかにし、正しく診断し、より有効な治療法を開発することを目標として、さまざまな研究を行っております。このような研究活動の基礎となるのが、実際に当院を受診された患者様の診療録（カルテ）の情報です。患者様の診療録に記録されている各種の臨床情報、検査結果、治療内容と経過などの医学情報は、病気の解明のために大変貴重なものです。そこで、当科では 2012 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに当院循環器内科または小児科を受診された 15 歳以上の先天性心疾患の患者さんを対象として診療録に記録されている情報を解析し、より有効な治療法を開発するために研究を行っております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を下記の研究に利用されることをご希望されない場合は、末尾に記載しました【お問い合わせ先】まで 2025 年 12 月 31 日までにご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。情報の登録が終了し、解析を開始した後に協力取り消しを申し出られた場合は、本研究への協力を取り消すことができなくなります。なお、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受ける上で不利益が生じることはありません。

【研究課題名】

日本における成人先天性心疾患患者の通院状況に関する調査（多施設共同後ろ向き観察研究）

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 循環器・呼吸器・腎高血圧内科

【研究責任者】 山口 修

【研究の目的】

全国の主要施設でフォローされている先天性心疾患を有する成人患者の人数と特徴を把握することです。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2012 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに愛媛

大学医学部附属病院循環器内科または小児科を受診された15歳以上の先天性心疾患の患者さんの診療録を研究の対象といたします。

(利用するカルテ情報) これまでの診療でカルテに記録されている性別、年齢、生年月、主病名、治療状況、合併症などの情報を収集して行う研究です。また、当院を含め全国から収集した情報は主任施設である東京大学医学部附属病院内において解析を実施します。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【共同研究について】

この研究は、東京大学を主任施設として共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化・暗号化されてパスワードを付与された電子ファイルを、東京大学医学部附属病院の研究従事者に電子メールで送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

主任研究機関

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・小児科 循環器内科

研究責任者 犬塚 亮 小児科 講師

【個人情報の取り扱い】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

患者さんの情報・データ等は、解析する前に氏名・住所の個人情報を削り生年月日は生年月に変換し、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、循環器・呼吸器・腎高血圧内科学講座において個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。研究結果は、個人が特定出来ない形式で学術雑誌や学会等で発表されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

<試料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院 循環器・呼吸器・腎高血圧内科 赤澤 祐介

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 循環器・呼吸器・腎高血圧内科 赤澤 祐介

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5303